

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-80184(P2004-80184A)

【公開日】平成16年3月11日(2004.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2004-010

【出願番号】特願2002-235525(P2002-235525)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 M 1/23

H 0 4 M 1/02

H 0 4 Q 7/32

【F I】

H 0 4 M 1/23 P

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 B 7/26 V

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月8日(2005.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

操作時に把持され、テンキーを含む複数の第1の操作キーを有する本体部と、
該本体部にヒンジ部を介して開位置と折りたたみ位置との間で回転すると共に、表示部
を有する可動部とからなる携帯端末装置において、
前記可動部の表示部とヒンジ部との間に設けられたくぼみ部内に、複数の第2の操作キ
ーを設け、少なくとも前記複数の第2の操作キーがワンタッチで発信する機能を有するこ
とを特徴とする携帯端末装置。

【請求項2】

前記くぼみ部の深さは、前記複数の第2の操作キーの前記くぼみ部の底部からの突出量
に対して大きく設定されていることを特徴とする請求項1に記載の携帯端末装置。

【請求項3】

前記複数の第2の操作キーは、折りたたみ状態において前記複数の第1の操作キーと対
峙していること特徴とする請求項1または2に記載の携帯端末装置。

【請求項4】

前記表示部は長手方向の辺と短手方向の辺を有する四角形であり、前記複数の第2の操
作キーは、前記表示部の前記短手方向の辺に沿って一列に配列されていることを特徴とす
る請求項1乃至3のいずれか1項に記載の携帯端末装置。

【請求項5】

前記複数の第2の操作キーは、3つのキーであることを特徴とする請求項1乃至4のい
ずれか1項に記載の携帯端末装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項1記載の発明は、

操作時に把持され、テンキーを含む複数の第1の操作キーを有する本体部と、
該本体部にヒンジ部を介して開位置と折りたたみ位置との間で回転すると共に、表示部
を有する可動部とからなる携帯端末装置において、

前記可動部の表示部とヒンジ部との間に設けられたくぼみ部内に、複数の第2の操作キ
ーを設け、少なくとも前記複数の第2の操作キーがワンタッチで発信する機能を有するこ
とを特徴とするものである。

また、請求項2記載の発明は、

前記くぼみ部の深さは、前記複数の第2の操作キーの前記くぼみ部の底部からの突出量
に対して大きく設定されていることを特徴とするものである。

また、請求項3記載の発明は、

前記複数の第2の操作キーは、折りたたみ状態において前記複数の第1の操作キーと対
峙していること特徴とするものである。

また、請求項4記載の発明は、

前記表示部は長手方向の辺と短手方向の辺を有する四角形であり、前記複数の第2の操
作キーは、前記表示部の前記短手方向の辺に沿って一列に配列されていることを特徴とす
るものである。

また、請求項5記載の発明は、

前記複数の第2の操作キーは、3つのキーであることを特徴とするものである。